

令和 8 年(2026 年)8 月 27 日

彦根市教育委員会
教育長 西嶋 良年様

稲枝北小学校将来の学校の在り方協議会
会 長 北川 三郎

稲枝北小学校の将来の学校の在り方についての報告および要望書

残暑の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、稲枝北小学校将来の学校の在り方協議会では、昨年の 11 月以降、約 10 か月に亘り計 5 回、稲枝北小学校の子どもたちのより良い教育環境について協議し、今後の小学校の在り方の方向性等を決めることを目的として、協議を重ねて参りました。

この度、協議会として、稲枝北小学校の子どもたちのより良い教育環境を実現するには、統合が必要であるという結論に達しましたので報告いたします。

なお、下記の点を要望いたしますので、ご配慮いただきたくお願いいたします。

記

○ 要望事項

- 1 統合に際しては、「彦根市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」で示された学校規模となるよう、稲枝北小学校、稲枝西小学校、稲枝東小学校を統合し、学校規模の適正化を図られたい。
- 2 通学の安全安心を確保するため、遠距離の通学を伴う場合の対策としてスクールバス等を運行されたい。また、経路の検討にあたっては、警察等の関係機関や保護者との連携のもと、万全を期されたい。
- 3 統合によって保護者に新たな経済的負担が生じないよう配慮されたい。
- 4 稲枝北小学校では、令和 11 年度に複式学級の発生が見込まれているが、統合が実現するまでの間、複式学級にしないよう、県へ教員等の加配を要望するほか、彦根市においても対策を講じられたい。
- 5 統合により使用されなくなった学校施設や敷地については、地域の要望や実情を踏まえ、活用方法を市として早急に検討されたい。